

日本大腸肛門病学会雑誌投稿規定

(2019年1月10日)

- 投稿方法**
- 1 論文の投稿は、次の URL にアクセスして行う。
URL <https://secure2.publigate.jp/coloproctology> (学会ウェブサイトからアクセスできる.)
 - 2 論文のフォーマットや図・表などのアップロード方法は投稿ウェブサイト (URL <https://secure2.publigate.jp/coloproctology>) を参照のこと。
 - 3 スキャナーなどがなく「誓約書」をパソコンに取り込めない時は、別途学会事務局まで送付すること。
- 投稿内容**
- 1 大腸肛門病学の進歩に寄与するもので、過去にその内容が未発表で、現在も他誌に掲載が予定されていないもの (投稿中のものを含む.) に限る。投稿に際して著者 (共著者全員を含む.) は二重投稿でない旨を記した誓約書に署名・捺印し添付する (二重投稿に関する注意参照のこと)。
 - 2 日本大腸肛門病学会臨床研究の利益相反に関する指針に関する補則第2条により、著者 (共著者全員を含む.) は利益相反自己申告書 (利益相反指針 様式2) にて利益相反内容を明らかにすること。申告の内容は論文末尾に印刷される。
 - 3 研究方法のうえで、倫理上の問題に抵触する論文は受理しない。
 - 4 単なる商業薬剤治験の論文は受理しない。
- 投稿資格**
- 1 著者、共著者ともに日本大腸肛門病学会会員に限る。但し病理、統計に関わった共著者、編集委員会よりの依頼原稿の著者はこの限りではない。
 - 2 著者、共著者合わせて12名以内とする。
- 二重投稿の注意**
- 1 著者・研究会の proceedings・商業誌などの如何を問わず、また欧文であっても、すでに原著形式 (症例報告を含む) で発表されている場合には、その1部に多少の変更や追加があっても、基本的に同一内容であれば、二重投稿とみなす。
 - 2 総説形式ですでに発表されている場合には、原則として二重投稿とはみなされないが、少なくとも図・表は新たに作成すべきである。
 - 3 二重投稿とみなされる恐れがある論文を投稿する場合には、前の論文のコピーを添付する。判定は編集委員会の見解で行う。
- 原稿の様式**
- 1 原著、総説、症例報告、臨床研究、依頼原稿、私の診療と工夫、Letter to the editor、に区分する。原稿にはその区分を明記する。
 - 2 原著、総説、症例報告、臨床研究は表紙、邦文抄録、索引用語、本文、文献、図表など、英文題名、ローマ字著者名、英文抄録の順序に記述する。
 - 3 私の診療と工夫、Letter to the editor は表紙、索引用語、本文、図表の順に記述する。文献は必ずしも必要でない。※英文題名、ローマ字著者名は表紙に明記する。
- 原稿の書き方**
- 1 A4版横書きで1枚400字 (20×20字) とし、タテ用紙に12ポイント、標準的なフォント (MS明朝体、MSゴシック体など) で、査読者の添削を妨げない行間と字詰めを確保して作成し、必ず頁数を付ける。
 - 2 外国語の原語綴は行末で切れないように、その言葉の頭で改行する。
 - 3 新かな使いを用い、医学用語を除き当用漢字とする。
 - 4 度量衡はCGS単位に限る。
 - 5 文中の外国人名、地名、科学用語などは原語あるいはカタカナを用い、固有名詞、の頭文字は大文字とする。
 - 6 論文中しばしば繰り返す用語は略語を用いて差支えないが、本文中の初出時は正しくフル表記して次回出時より略語を用いることを明記する。
- 表紙**
- 論文の種別、論文名、所属、著者名、原稿枚数、図表枚数、特別掲載希望の有無、連絡先住所、氏名、電話番号・FAX番号、Emailアドレスを記載する。
- 邦文抄録**
- 原著、総説、症例報告、臨床研究は400字以内の内容抄録をつける。抽象的記述でなく、目的、方法、成績、結論などの具体的内容を簡潔にまとめる。
- 英文抄録**
- 英文題名、ローマ字著者名 (フルネーム表記)、英文所属、200語以内の英文抄録の順序に記述する。
- 索引用語**
- 原著、総説は5個以内、症例報告、臨床研究、依頼原稿、私の診療と工夫は3個以内とする。索引から目的の論文が確実に拾いだされるように、的確なものとする。
- 例) X線検査→注腸二重造影法 リンパ節転移→直腸癌側方リンパ節転移率
手術術式→痔瘻手術術式

投稿原稿の
形式

付表 (投稿要領)

種 目	枚 数	図表・写真	抄 録	索引用語
原 著	40 枚以内 (文献を含む)	20 枚以内	和文 400 字以内 英文 200 語以内	5 個以内
総 説				
症例報告	15 枚以内 (文献を含む)	10 枚以内		
臨床研究	20 枚以内 (文献を含む)			
私の診療と工夫*	8 枚以内 (タイトル, 著作者, 施設名含む) 引用文献は必ずしも必要ではない 英文タイトル所属・著作名			3 個以内
Letter to the editor**	2 枚以内 (氏名, 所属含む) 図表なし			
依頼論文	編集委員会において定める		和文 400 字以内 英文 200 語以内	5 個以内

*日常の臨床経験から得られた大腸肛門疾患の治療や検査などの経験と工夫で会員に有用と思われるもの。

**本誌に掲載された論文に対する意見, 批判, 特集に関する希望や編集委員会に対する意見などを含む。

(注) 1 印刷は原則として白黒とするが, 図表・写真がカラー入稿であった場合, カラー印刷とする。
2 図・表・写真の説明文は英文も併記することが望ましい。

校 正
文 献

1 初校のみを著者校正とする。校正にあたり改変, 組み替えを行うことはできない。
2 返送期日は厳守すること。

1 文献は必要最小限とし, 引用順に番号を付す。
2 著者名は筆頭者から 3 名までは記載し, それ以上は「ほか」または「et al」とする。
3 誌名略称は, 日本文献は医学中央雑誌略名表に, 外国文献は Index Medicus に従う。

イ. 雑誌: 引用番号) 著者名 (3 名まで): 題名, 略誌名

(例) 1) 長谷川修平, 岩下明德, 二見喜太郎ほか: 直腸カルチノイドの臨床病理学的研究—とくに免疫組織化学的悪性度指標の検討—. 日本大腸肛門病学会誌 50: 163-176, 1997

2) Vernava AM, Moore BA, Longo WE, et al: Lower gastrointestinal bleeding. Dis Colon Rectum 40: 846-858, 1997

ロ. 単行本 a: 引用番号) 著者名: 書名, (巻), (版), 発行所, 発行地, 発行西暦年号, p頁-頁 () 内は必要があるときのみ記載

(例) 3) 多田正大, 川井啓一: 大腸癌検診ガイドブック. 金芳堂, 東京, 1992, p12-34

4) Hesketh R: The oncogene handbook. Academic Press, London, 1994, p536-553

単行本 b (分担執筆): 引用番号) 著者名: 分担項目名, 編集名, 書名, 発行所, 発行地, 発行西暦年号, p頁-頁

(例) 5) 大橋秀一, 折山 毅, 神野浩樹: 大腸部分切除の基本手技. 藤田力也編. 消化器内視鏡の基本手技. 金原出版, 東京, 1996, P381-391

6) Notaras MJ: Lateral subcutaneous internal anal sphincterotomy for anal fissure. In Fielding LP, Goldberg SM, eds. Rob&Smith's operative surgery: surgery of the colon, rectum and anus. 5th ed. Oxford. Butterworth-Heinemann, 1993, p871-879

図表転載に際しての許諾
論文の採択等

既に出版されている雑誌や著書の図表等を転載する場合には, 転載であることを明示し, その文献の著者および出版社には転載の許諾を書面で得ること。その証明書類を原稿に付して提出する。

投稿論文の採否は, 原則として受付後 2 週間以内に複数の編集委員による査読を行い, その結果により編集委員会で審議し決定する。不採用論文の著者には, 不採用コメント (①新奇性に欠ける ②希少性に欠ける ③研究デザインが適切でない ④倫理的に問題がある ⑤論理性に欠ける ⑥内容が本学会誌に適さない ⑦その他) を通知する。

資料の著作権
掲載料金

掲載後のすべての資料の著作権 (著作権) は日本大腸肛門病学会に属し, 他誌への無断掲載はできない。

1 掲載料金の実費は著者負担とする (依頼原稿を除く)。

2 図・写真の製版は, その実費を著者の追加負担とする。カラーの場合でもそのための追加料金はありません。

3 特別掲載を希望する論文は受付順序によらず, 採択後速やかに掲載し, 料金は特別掲載料を必要とする。

4 別刷は実費負担とする。

規定改正
その他

投稿規定は改正することがある。

会誌の発行後, 論文は電子ジャーナルで公開される。(J-STAGE)